

教育目標

おもいやりがあり、自ら学ぶ、たくましい小川っ子の育成

めざす学校像	めざす児童像	めざす教師像
<ul style="list-style-type: none"> ○喜んで登校し満足して下校できる学校 ○一人一人が大切にされている学校 ○美しく潤いのある環境をもつ学校 ○地域に学ぶ開かれた活気ある学校 	<ul style="list-style-type: none"> ○思いやりがあり、節度のある子ども ○自ら考え、ともに学び合う子ども ○明るく、たくましい子ども ○地域に学び地域を愛する子ども 	<ul style="list-style-type: none"> ○よさと伸びを常に意識し、励まし、見届けで伸ばす教師 ○子ども一人一人を理解し、笑顔で接する教師 ○子どもや保護者、地域から信頼される教師 ○使命感を高め危機管理意識の共有化を図る教師

豊かな心の育成

- 1 「特別の教科道徳」の充実
- 2 特別支援教育の推進
- 3 郷土を愛する心の育成
- 4 人権教育の推進
- 5 積極的な生徒指導の推進



道徳の公開授業



異学年との交流



小川風保存会のご指導で作った小川風



「心のきずなを深める」集会

学校経営の方針

- 1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図る。
- 2 人権尊重の精神、自他を大切にすることを基盤として、一人一人のよさを生かし、見届けと励ましの愛情を注ぐことで、自尊感情、自己有用感を高め、自己実現に向かう児童を育成する。
- 3 持続発展教育（ESD）の理念を受け継ぐ。既知や体験、他者の考えを活用して知を練り磨くことで、学ぶ力、知恵、実践力を育み、知・徳・体の調和のとれた児童を育成する。
- 4 学校評議員会、地域懇話会と連携・連動して、地域に学ぶ教育を展開し（熊本版コミュニティ・スクール）、郷土に誇りをもち、人と人との絆を結ぶ力をもつ小川っ子を育成する。
- 5 業務の役割分担や適正化による業務の効率化を図り、教職員の負担軽減に取り組む。

確かな学力の育成

- 1 分かる・楽しい授業づくりの実践
- 2 自ら学びともに学び合う態度の育成
- 3 持続発展教育（ESD）の推進
- 4 個に応じた指導の工夫
- 5 読書習慣の形成



分かる授業の実践



対話活動のようす



主体的な学び



分かりやすい板書



保護者読み聞かせ



エコキャップ運動
(ESD委員会)

校内研修

研究主題

、主体的に学び合い、分かる喜びを感じる算数科学習
～子どもの考えをつなぎ高める授業づくりを通して～

研究の仮説

- ① 児童に付けたい力を明確にし、児童自らが「問い」を持つ課題提示の工夫をし、「振り返り」の充実を図れば、主体的に学び合い、分かる喜びを感じる子どもが育つであろう。
- ② 学習に見通しを持たせ、深める段階において、子どもの考えをつなぐ活動を展開すれば、友達との学び合いにより、主体的に学び合い、分かる喜びを感じながら算数の楽しさに気付くことができるであろう。
- ③ 学習規律や家庭学習の充実、校内言語環境の整備・充実を図れば、授業の質の向上と相まって、児童の学ぶ力が高まり、主体的に学び合うことができるであろう。

たくましい心身の育成

- 1 教科体育を中心とした体力づくりの推進
- 2 食育の推進
- 3 健康・安全（防災）教育の徹底
- 4 頑張りぬく心の育成



田植え



交通教室



PTA ふれあい給食

家庭・地域との連携

- 1 地域の教育力「ひと、もの、こと」の活用
- 2 情報の発信、収集
- 3 家庭教育の啓発



カルチャー教室



初市ステージ発表



ふれあいコスモス祭

